

イエスについて探し出す 1



この課で学ぶこと

聖書から学ぶ

聖書の確かさ

聖書のテーマ

イエスに関する新約聖書の記録

経験から学ぶ

人の経験

個人的経験

ひとつおたずねしてもよいですか。あなたはイエスをどう思いますか。ある人は「彼は偉大な教師だった」と言います。彼を預言者、哲学者、西洋の神、模範として、私たちが従うべき立派な人と呼ぶ人もいます。



たしかにイエスは偉大な教師であり、預言者でしたが、彼はそれ以上のおかたでした。イエスは西洋出身の人ではありませんでした。ですから、彼を西洋の神と呼ぶことはできません。彼は2000年ほど前の、中近東に生きた人です。しかも世界中の何百万という人々が、彼を個人的に知っています。そういう人たちは、彼のために死ぬことも辞さないでしょう。彼は哲学者や私たちの模範以上のおかたです。いったい彼はどういうおかたなのでしょう。

聖書から学ぶ

聖書の確かさ



イエスがどういうおかたであるかを知るために、彼の生涯と教えが正確に記録されている本、すなわち聖書のところに行ってみましょう。聖書は35人から40人の人によって書かれた66冊の本を集めたものです。

聖書の著者たちは、いろいろな職業をもった人たちでした。たとえば、学者、医者、王、預言者、祭司たちであったり、実業家、農夫、羊飼、役人、漁師たちであったりして、実に様々です。

彼らが生きていた時代は、およそ1600年のへだたりがあります。彼らはみんな立派な人たちで、次のような共通点をもっていました。

- 1) 彼らはみんな一つの神を礼拝していた。宇宙の創造主である唯一の神を知っていました。
- 2) 彼らはみんなこの神から、啓示をいただき、人類に対するメッセージを受けていました。
- 3) 彼らはみんな神が命じられたとおりに書きました。



彼らが過去の出来事や、未来の出来事の預言や、あらゆる時代、あらゆる環境にある人類に対する神のメッセージを書くとき、神は彼らが誤りを犯さないように彼らを守りました。神に靈感されたこれらの著書は、その昔一冊の本、聖書にまとめあげられました。

神



第2 ペテロ 1:21 なぜなら、預言は決して人間の意志によってもたらされたものではなく、聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを語ったのだからです。

聖書はあらゆる点で正確です。それは歴史的に正確です。それは科学的に正確です。国や個人についての無数の預言が、正確に成就したということは、聖書がまちがいでなく神のことばであることの証明です。だから私たちは、イエスについて聖書が伝えていることを信賴することができるのです。

自習のために

まだ9ページから11ページまでを読んでいなければ、質問に答える前に読んで下さい。下記の質問に対して正解と思われる箇所に、×印をつけて下さい。

1. イエスはどのようなおかたであったか。
 - 1) 単なる偉大な教師。
 - 2) 単なる預言者。
 - 3) 西洋の神。
 - 4) 教師、預言者、哲学者以上に偉大なおかた。

2. イエスはどこに住んでおられたか。
 - 1) ヨーロッパ。
 - 2) 中近東。
 - 3) 西洋。

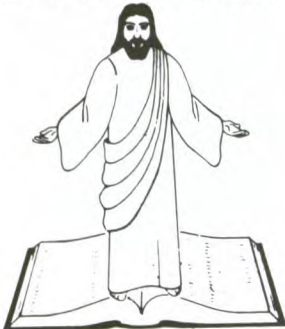
3. イエスについての正確な情報を得るにはどれが最適か。
 - 1) 聖書。
 - 2) ローマの歴史。
 - 3) ギリシャ哲学。

4. 聖書の著者たちの共通点を三つあげよ。

- 1) みんな同時代の人であった。
- 2) みんな同じ神を礼拝していた。
- 3) みんな多くの神々を礼拝していた。
- 4) 神は彼らに御自身を啓示され、彼らにメッセージを与えられた。
- 5) みんな書きたいことを書いた。
- 6) みんな神が命じたことを書いた。
- 7) みんな本の中で誤りを犯した。

聖書のテーマ

1600年以上にもわたって、40人ほどの人たちによって書かれた66冊の本が、なぜ一冊の本にまとめあげられたのでしょうか。それは66冊に一つのテーマがつかぬかかれていたからです。それらは同じ一つの絵の多様な部分を、私たちに示しています。聖書の中の歴史書、律法、詩歌、預言、伝記、实际的教えには、一つの中心的テーマがあります。それは愛の神による罪人の救いです。



旧約聖書も新約聖書も、人間が救い主を必要としていることと、神がイエスによって救い主をさし出されたことを、私たちに示しています。イエスが生まれる前に書かれた旧約聖書には、イエスについての多くの預言を含んでいます。

一方、新約聖書は救い主がどのように来られたか、彼によって私たちがどのようにして救われるかを示しています。人類の救いという聖書全体のテーマは、人類の救い主イエスを中心としています。

自習のために

5. 聖書の中心的テーマは何か。
 - 1) 律法による救い。
 - 2) 愛の神による罪人の救い。
 - 3) 良い環境による人間の救い。

6. 救い主についての多くの預言が含まれている聖書の部分はどこか。

.....

7. 救い主の生涯を記録している聖書の部分はどこか。

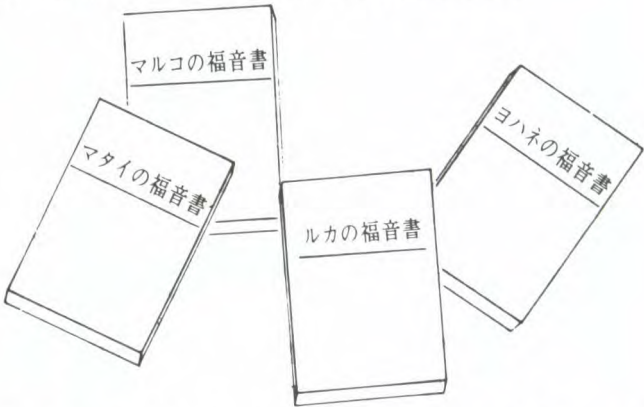
.....

イエスに関する新約聖書の記録

新約聖書は以下のことを記録しています。

- 1) イエスの生涯と教え。
- 2) イエスが設立した教会。
- 3) イエスに従うための教え。
- 4) イエスの再臨に関連した未来の出来事。

私たちは新約聖書の確かさを、信頼することができます。神は新約聖書を書くべき人を選び、あらゆる点にわたって、彼らに靈感を与えられました。新約聖書の記録がまちがいのない確かなものであることを証明する三つのことがあります。1) 神の靈感。2) 著者たちの目撃者としての証言。3) 事実の組織的調査。



マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネは自分の名前と呼ばれている福音書を書きました。この四つは新約聖書の最初の書巻です。それらは福音書と呼ばれます。なぜなら、福音とはグッド・ニュースを意味するからです。私たちに永遠の命を与えるために、イエスがどのようにして来られたかを知らせる良きおとずれは、最高に素晴らしいニュースだからです。

私たちはいろいろな角度から人を見ます。あなたの知っている人を見て下さい。ある人にとっては、彼は隣人です。別の人にとっては友人となり、夫となり、父となる場合もあります。みんな同じ人のことを書くかもしれませんが、めいめいが違った見方をし、違ったことを強調できるのです。



マルコは神のみこころを行なう神のしもべとして、イエスを示しています。それは私たちの罪のために、死ぬために来られた、旧約の預言に記された苦難のしもべでした。



ヨハネは神の御子、世の救い主としてのイエスを、私たちに見せるために、彼の福音書を書いています。彼の本は、彼がよく知っている人の生涯の記録です。彼はイエスと親密な間柄にありました。ヨハネは何かを証明するために、すなわち、イエスがどういうおかたであることを証明するために、証人として書いています。彼の目的は、彼の記録を読んだすべての人に、このイエスという人がふつうの人間以上のおかた、すなわち人間の形をとってこられた神で

神はマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネに靈感を与えて、イエスについての良いおとずれを、いろいろな角度から書かせました。マタイは義をもって世界を治めるようになるダビデ王の子孫、すなわち王としてのイエスを私たちに示しています。



ルカはギリシャ人の医者として、人の子としてのイエス、すなわち完全な人類の代表、全人類の病いをいやすおかたとして示しています。



あることを確信させることでした。そして彼は、イエスを信じる者はすべて永遠の命を受けると宣言しています。これは偉大な宣言です。信じられないほどすばらしい宣言です。でもイエスの他の弟子たちが、イエスについて書いたことを聖書で見ますと、彼らはみんな一致していたことを知ります。イエスについて彼らが言っていることは本当なのです。

マタイとヨハネは12人の弟子たちの二人で、3年間イエスとその働きを共にしました。彼らはイエスが行なわれた奇跡を見たまま書き、イエスのいくつかの教えを書き、個人的に彼の死と復活について見たことを告げています。ヨハネはイエスの神性の証拠をあげ、彼を信じることの重要性を強調しています。マタイはイエスの弟子となる前から、公文書を書くことになれていました。彼はイエスこそ旧約時代の預言者が書いた王であることを、組織的に証明しています。彼は預言とその成就を引用し、イエスの王としての血統をたどり、彼の王国の原則をのせています。

マルコはイエスが活動しておられた頃のエルサレムに住んでいた青年でした。たぶん彼はイエスの言葉を聞き、彼の奇跡を見、彼が十字架につけられるのを見た群衆の中にいたことでしょう。あとになってマルコは、ペテロ（イエスの弟子のひとり）と親密となり、彼から福音書に書かれているいくつかの細かい点を聞いたものと思われる。

医者ルカは、イエスについてのレポートを注意深く調べました。彼は2冊の本を書きあらわし（福音書と使徒の働き）、有名な友人に、イエスの生涯と教会の成長の正確な記録を提出しました。ルカはマリヤ（イエスの母）と会見し、多くの人と会ってイエスの奇跡的誕生、生涯、死、復活についてくわしいことを知りました。彼はイエスが行なわれた多くのいやしのわざを調べ、実際に起きたことをありのままに書きました。

新約聖書の他の著者たち、ペテロ、ヤコブ、ユダ、パウロにも、イエスについて書く資格が十分そなわっていました。ペテロは弟子として、イエスと3年間生活を共にしました。ヤコブとユダは、イエスの兄弟でした。パウロは、以前はイエスと弟子たちの恐ろしい敵でしたが、イエスに出会って全く変えられました。その瞬間から、ずっとパウロは、生涯かけてイエスを人に伝えました。

神はこれらの人たちを靈感して、私たちのために（当時の人たちだけではなく）イエスについて知っていることを書かせました。彼らの記録はすべて一致しています。彼らは経験から、いかに私たちがイエスを知って、イエスが与えるすばらしい命を受けるかを語っています。ヨハネはそのことを要約しています。

第1ヨハネ1：3 私たちの見たこと、聞いたことを、あなたがたにも伝えるのは、あなたがたも私たちと交わりを持つようになるためです。私たちの交わりとは、御父および御子イエス・キリストとの交わりです。

自習のために

8. 第1ヨハネ1：3を暗唱しなさい。
9. 四つの福音書を書いたのはだれか。
.....
10. 注意深く調べてからイエスのことを書いた医者の名をあげよ。.....
11. イエスと出会うことによって、あざやかに変えられたイエスの敵はだれであったか。
12. イエスに関する新約聖書の記事とは、どのような性質のものか。
..... 1) 第一世紀の英雄に関する伝説集。
..... 2) 幾時代にもわたって、口伝えに伝承されてきた記録。
..... 3) イエスを知っていた人、あるいはイエスを知っていた人と会見することで、事実を知った人によって書かれた記録。

経験から学ぶ

イエスは今も生きておられるから、私たちもイエスを個人的に知ることができます。これこそ福音の良い知らせです。イエスは今も昔行なわれたことを人々に行なっています。

人の経験

あなたはイエスを個人的に知っている人を知っていますか。これはイエスのことを、単に知っている以上のことです。教会員であるとか、クリスチャンと呼ばれている以上のことだからです。イエスを個人的に知ると人生は変わります。多くの人々が今日、イエスを本当に知っています。彼らはあなたに、イエスのことを喜んで話してくれるでしょう。ある人は、次のように話します。



「以前は人間嫌いでした。でもイエスさまが私のところに来られてからは、すっかり変わりました。今では人を愛するように変えられ、何とか人の役に立ちたいと思っています。」

「以前は罪意識にひどく悩まされていましたが、罪のゆるしを求めたときに、イエスさまはそれをすべて取り除いてくれました。イエスさまは、私に喜び、平安、清い良心を与えてくれました。」

「イエスさまは、私を苦しめていた恐れを取り除いてくれました。イエスさまは問題にぶつかっていく勇気を与えてくれたのです。」

「イエスさまは、私に生きがい、人生の目的を与えてくれました。」

「イエスさまが、私のすべての問題の答えです。祈りの中で、私はすべての問題をイエスさまのところにもっていきます。その時、何をしたらいいのかを示され、必要が満たされます。」

「イエスさまがいつも一緒にいてくれるので、私はもう少しも寂しくありません。」

「私は麻薬中毒者でした。しかしイエスさまを受け入れたとき、イエスさまはその麻薬熱を取り除いてくれたのです。」

「イエスさまは祈りに答えて、何度も私をいやしてくれました。」

イエスを本当に知っている人のこれらのあかしは、神のことばの真実を証明しています。

ヘブル13：8 イエス・キリストは、きのうもきょうも、いつまでも、同じです。

自習のために

13. ヘブル13：8を暗唱しなさい。
14. 考えて下さい。上記のようなイエスとの体験談を、聞いたら、あなたはどう思いますか。あなたもイエスを知りたいと思いますか。これらの真実なあかしを聞いて、あなたもイエスによって問題が解決されると思いますか。

個人的経験

イエスがどういうおかたであるか、
 どうしたら一番良く知ることができる
 でしょうか。それは聖書を学ぶことによ
 って多く知ることができるのです。
 聖書にイエスの生涯と教えがのってい



ます。なぜイエスがこの世に来られたか、あなたのためにイエスは
 何をなさったかが、それによってわかります。聖書はまたイエスが
 現在何をなさり、将来何を行なわれるかを語っています。さらに人
 の経験からも、イエスのことを知ることができます。イエスの地上
 生涯から、現在に至るまでの長い年数にわたって、人々はイエスを
 心から知りたいと願う人に、イエスが御自身を明らかにされること
 を見てきました。そして最良の方法は、あなたが個人的にイエスを
 知り、経験によってイエスについての聖書のことばが真理であるこ
 とを、知ることができるというわけです。



あなたはすでにイエスのことを知っ
 ているかもしれません。あるいはイエ
 スのことを一度も聞いたことがないか
 もしれません。あなたはすでに、イエ
 スを知って彼を愛しているか、パウロ
 のように、イエスに個人的に出会って
 変えられる以前の、イエスの敵として
 福音に敵対しているかのどちらかです
 しょう。イエスをどのように知り、また
 イエスに対してどのような態度をとっ

ているにしても、この学課はあなたが個人的にもっと良く、イエスを知るようになるために書かれたものです。それによって、あなたがイエスとの交わりからくる、すばらしい恵みを味わってほしいと思います、また祈っています。

自習のために

15. これらの学課はだれのために書かれたものか。
- 1) イエスを知っている人たち。
 - 2) イエスを知らない人たち。
 - 3) イエスがどのようなおかたであるかを知りたいと願っている人。
16. イエスのまことの姿を知る最良の方法を三つ選びなさい。
- 1) イエスについて聖書は何と言っているかを学ぶ。
 - 2) 他の宗教が何と言っているかを学ぶ。
 - 3) いろいろな宗教を比較する。
 - 4) イエスを個人的に知っている人に、イエスが何をなさったかを聞く。
 - 5) イエスを個人的に知る。
 - 6) イエスに関する見解を聞く。
 - 7) イエスの敵が何と言っているかを聞く。
17. 考えて下さい。イエスのことをもっと知りたいと思うことで、何か役立ちましたか。どのようにしたでしょう。
18. 次頁の正解表からあなたの答えをチェックしてみてください。うしろにある返信用受講生記録の第1課に記入して下さい。

第1課 正解

あなたが出した答えを、以下の正解と照らして自己採点して下さい。
採点对照は20項目です。(問9を4つとして)。18~20の正解の場合は
優秀、14~17は優、10~13は良。10以下の正解の場合は、もう一度こ
の学課を読み直して内容をよく知って下さい。

1. 4) 教師、預言者、哲学者以上に偉大なおかた。
2. 2) 中近東。
3. 1) 聖書。
4. 2) みんな同じ神を礼拝していた。
4) 神は彼らに、御自身を啓示され、彼らにメッセージを与えられた。
6) みんな神が命じたことを書いた。
5. 2) 愛の神による罪人の救い。
6. 旧約聖書。
7. 新約聖書。
9. マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ。
10. ルカ。
11. パウロ。
12. 3) イエスを知っていた人、あるいはイエスを知っていた人と会
見することで、事実を知った人によって書かれた記録。
15. 3) イエスがどのようなおかたであるかを知りたいと願っている人。
16. 1) イエスについて聖書は何と言っているかを学ぶ。
4) イエスを個人的に知っている人に、イエスが何をなされたか
を聞く。
5) イエスを個人的に知る。

正解数..... 採点.....

返信用受講生記録の第1課に記入して下さい。